

讀此公將自序年七十書後律成感銘廿一年...

廿四

八

讀部

八

一

七

廿

廿

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

沼田郡八木村百姓喜七青染紺屋職御帖付之義御願書附

沼田郡

覚

八木村

喜七

一 灰壹斗五升

此御運上銀壹匁五分

但石二付拾匁替

右者私儀農間ニ青染紺屋職仕度奉存候間

当正月より年々前段之通り御運上銀被為

召上職業御赦免被為仰付被下候ハ、難有可

奉存候、何卒相叶候様宜被仰上被可下候、依此段

書附を以御願奉申上候、以上

酉正月

喜七

庄屋

忠左衛門殿

与頭中

青染紺屋職 藍染営業を免許された職人、諸藩の御番所もこれに準じる

灰 藍液製造工程で藍の発酵を調節するために投入する木灰

運上銀 藍染に課せられる営業税。

前書之通り願出申候ニ付、得斗相約申候処相違無御座候間、何卒願之通り紺屋職御帖付之義御赦免被為仰付被下候様仕度奉存候、儼此段書附取次奉願上候、以上

酉正月

庄屋

忠左衛門

与頭

六兵衛

同

甚兵衛

同

平左衛門

沼田郡

御役所

同八月御免許被為仰付候事